

株式会社フォーバルテレコム、環境配慮型の都市ガス 「Elenova 地球にやさしいガス」を提供開始 ～中小・小規模企業の脱炭素経営を支援～

株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島 将典、以下「フォーバル」）のグループ会社である株式会社フォーバルテレコム（本社：東京都港区、代表取締役社長：行 辰哉、以下「フォーバルテレコム」）は、2026年10月1日より、東京ガスエリア・東邦ガスエリア・大阪ガスエリアにおいて、主な顧客となる中小・小規模企業に向けて、環境配慮型の都市ガス「Elenova 地球にやさしいガス」の提供を開始いたします。



《Elenova 地球にやさしいガス：ロゴマーク》

提供開始の背景

地球温暖化による気候変動の問題が顕著になり、近年、官民を問わず環境配慮の取り組みが求められています。当社の主な顧客となる中小・小規模企業においてもサプライチェーンの中で、企業活動における温室効果ガスの排出量の開示や提出を求められる等、脱炭素経営の取り組みを問われる機会が増えております。当社ではその取り組みの一助として、「Elenova 地球にやさしいガス」を提供する事といたしました。

「Elenova 地球にやさしいガス」の特徴

「Elenova 地球にやさしいガス」は、従来の都市ガスに「J-クレジット」によるカーボン・オフセットの仕組み※を加えることで、都市ガスの使用による温室効果ガスの排出量を実質ゼロとします。

料金は一般的な都市ガスと同じく、基本料金と従量料金、原料費調整額で構成されており、利用企業は新たに機器や設備に投資することなく、従前どおりに都市ガスを使用しながら、脱炭素経営を推進することができます。

当社の調べでは、一般的な中小・小規模企業のオフィス1件あたりの年間ガス使用量は468m³となりますが、「Elenova 地球にやさしいガス」を利用する事で、これに相当する温室効果ガスの排出量・約1t-CO₂をオフセット、実質ゼロとします。

※「J-クレジット」によるカーボン・オフセットの仕組みとは？

「J-クレジット」とは、企業・地方自治体・農業者・森林所有者等が、省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの導入、適切な森林管理等により、削減または吸収した温室効果ガス（＝カーボン）の数量を、国が証書化したものです。企業はこの「J-クレジット」を購入する事で、自社では削減しきれない温室効果ガスの排出量をオフセット（＝実質ゼロ）する事ができます。



これまでの脱炭素経営に対する支援

フォーバルテレコムについて

▼フォーバルテレコム ESG経営の取り組み

社名：株式会社フォーバルテレコム

株式会社フォーバルについて

株式会社フォーバル（東証スタンダード：8275）は、中小・小規模企業向けの伴走コンサルティングを主力事業とし、「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野で経営支援サービスを展開しています。独自の「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）」モデルを通じて、経営課題の可視化から改善提案、実行支援までを一気通貫で提供し、ESG経営、人的資本経営、DX/GX推進など企業価値向上に資する高付加価値支援を行っています。

また、地方創生戦略「F-Japan構想」のもと、自治体、民間企業、教育機関、金融機関との連携による地域共創モデルの構築および横展開を推進しています。

■会社概要

社名：株式会社フォーバル

代表：代表取締役社長 中島 将典

設立：1980年（昭和55年）9月18日

所在地：東京都渋谷区神宮前5丁目52番2号青山オーバルビル14階

URL：<https://www.forval.co.jp>